

歯 05 歯科充填用材料  
管理医療機器 歯科充填用アクリル系レジン JMDN 70856000  
**タフロン・ポーリン**

**【禁忌・禁止】**

本材、フタル酸エステル系可塑剤又はメタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には、使用しないこと。

**【形状・構造及び原理等】**

本品は、次の構成成分で構成し、記載の成分を含有します。

粉末 : MMA とその他の共重合体、粉砕 PMMA、着色材、  
反応開始材。

液 : MMA、反応開始材

・ 該当規格: JIS T 6518 歯科充填用アクリル系レジン

色調: エナメル色: #1、#2、#3、#4

象牙色: #5、#6、#7、#8、#9、#10、

: #61、#62、#65、#66

**\*\*【使用目的又は効果】**

歯冠の充填。

レジン歯の製作及び改修。

継続歯、加工歯の製作、修理。

**\*\*【使用方法等】**

(1) 歯冠の充填

- ① 適用部位に燐酸セメント等による薄い裏装を行います。
- ② 色見本による色調選択後、粉末(使用量より多い目)と液をそれぞれ採取し、適用部位を十分に乾燥させます。
- ③ 筆を液に浸し、適用部位に塗布します。
- ④ 再び液に筆をつけ、盛り上げた粉末に接触させると筆先に球状となって粉末が付着します。
- ⑤ これを適用部位に移し、出来るだけ薄く、広く、伸ばす様に、段々と塗り重ねて行きます。
- ⑥ やや多い目に積み上げ、最後に表面を駅で濡らし、錫箔等で被います。重合(初期硬化)は数分で終わります。
- ⑦ 研磨及び仕上げは約 30 分後に行います。出来れば 1 日～2 日後が適当です。

**【使用方法に関連する使用上の注意】**

- (1) 本材は、採取後速やかに使用し、容器はすぐに密栓すること。
- (2) 作業中ガーゼで時々筆先を拭うと操作はより容易になります。筆が粘ってききましたらモノマー(液)又はアセトンで清掃すること。

**【使用上の注意】**

(1) 使用注意

- ① 液は可燃性なので、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。又、テーブル、床などにこぼした場合には、すぐに乾いた布等で拭き取りこと。
- ② 本材と他の製品と混用しないこと。
- ③ 【保管不良・間違った組成(他の製品との混用)等】で強度不足、不具合、違和感、破損等のリスクがあるので注意すること。
- ④ 本材は、【性能、使用目的、効能又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。
- ⑤ 本材は歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

(2) 重要な基本的注意

- ① 本材に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の即応歴のある患者に

は使用しないこと、又、本材の使用により発疹等の過敏症状

が現れた患者又は術者においては、直ちに使用を中止し、専門医の診断を受けさせるか、又は受けること。

\*\*\* 又、妊婦や幼児への使用を控えること。

- ② 本材が患者さんの目、皮膚又は衣類に付着しないような措置を講じること。又、適用部位以外の口腔粘膜にはなるべく付着させないこと。
- ③ 本材が、万一目に入った場合には、直ちに大量の流水で洗浄
- ④ した後、眼科医の診断を受けさせること。
- ⑤ 口腔内作業完了後は、直ちに口腔内を十分洗浄する(十分洗口させる)こと。また、皮膚に付着した場合には、直ちに石鹼を使用し流水で十分洗浄すること。衣類に付着した場合には、直ちにアルコール(綿球)で十分拭き取ること。

**\*\*【保管方法及び有効期間等】**

〔貯蔵・保管方法〕

- ・ 本材は火気、高温、多湿又は直射日光を避けて室温「0～23℃」で保管すること。
- ・ 使用及び保管場所には、消火器を備え、同一保管場所に多量に保管しないこと。
- ・ 粉末、液ともに必ず蓋を良く締めて保管すること。
- ・ 本材は、歯科の従事者以外が触れないよう適切に保管すること。

〔使用期限〕

本材は、容器に記載の使用期限までに使用すること。

【記載使用期限は当社データーによる。】

**\*\*【製造販売及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】**

製造販売元: 三木化学工業株式会社

住所: 〒604-8441

京都市中京区西ノ京西中合町 18

電話番号: 075-841-3461

FAX 番号: 075-841-3998

取扱説明書等を必ずご参照ください。